

- 生活支援 貝守り 協議体
- 買物支援 配達 その他
- 移動支援 居場所づくり

30

移動販売車「ぐりんぐりん号」による買い物支援



いちき串木野市社会福祉協議会

地域の概要



いちき串木野市は鹿児島県薩摩半島の北西部に位置し、平成17年10月に市来町、串木野市が合併し誕生。

人口25,879人、高齢化率39.29%。（令和6年4月末現在）

16の地区（コミュニティ組織）、143の公民館が地域福祉を推進する基礎単位。

取組のきっかけ

かねてより地域ケア会議などで地域内での買い物支援に関する困りごとが指摘されていた。また、既存の移動販売車はあったが市内全域のニーズを充足するには不十分であったため、もう一台移動販売車が必要だという思いから事業開始に至った。

取組の目的

- 高齢者への買い物支援
- 近所の方を支援しながら買い物をする中で生まれる生活支援の仕組みづくり
- 自ら買い物をする、集合場所まで歩いたり、地域の人と関わったりしながら買い物することを通じた介護予防

これまでの経緯

年・月	出来事
令和2年6月	政策課（役所）を通じ、日本風力エネルギー株式会社（以下、日エネ）よりマスク寄付の相談を受ける。（事業助成へのつながるきっかけ）
令和2年7月 ～令和3年4月	豪雨災害がきっかけで、継続的な意見交換の場を設けていた。日エネより社会貢献について、継続的に話し合いたいとの相談があり、月1回の情報共有会議を開催。（計9回）
令和3年5月	日エネ「一般社団法人カザミドリ」設立を知る。（地域の課題解決を目指す社会貢献の一環）
令和3年6月	日エネの社会貢献活動と体制整備事業としての活動の情報共有、協議。 （一社）カザミドリより移動販売車購入に対し助成が確定。
	16地区へアプローチ。（事業趣旨の説明と地域の状況把握）
令和3年7月～10月	具体的な取組開始。関係者と協議。助成金の申請、交付決定。
令和3年11月～12月	実施事業者決定。
令和4年1月	商品等検討。ころばん体操代表、まちづくり競技愛会長等へ事業開始の案内。出発式・運行開始。

活動の概要

いちき串木野市では、143公民館のうち、109公民館でころばん体操が行われている。この取組は元気な人も虚弱な人も集まって行うことを理想としているため、良好な住民間の関係と支援体制が必要であり、定期的に顔を合わせていることから、互いを気かけ合う関係性が築かれている。

買い物に課題を抱える高齢者が集まるころばん体操などの拠点を活用し、移動販売車を巡回させることで、住民間の支え合いを通じた買い物支援の体制を作っている。

商品を手に入れるだけでなく、自ら歩いて店に行き、商品を選んで支払うという過程が介護予防になるという点も重視している。

- ・巡回：現在10地区22ヶ所を対象
- ・停車時間：20分
- ・参加対象者：誰でも可能 ※ころばん体操を行わない人も利用可能。
- ・利用料：無料

取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

〔行政担当者としての役割〕

- SCと定期的な情報共有を行う

〔SCとしての役割〕

- 社協が従来から持ち合わせている地域との関係を活かして事業主旨を伝える（地域、関係各所への啓発）。
- 関係各所との協議の際には進行やまとめ役を行う。
- 関係機関や住民との関係構築

現時点での到達点（効果・課題など）

〔効果〕

- 地域の集合場所で移動販売を行うことで、地域の方々が近所の方を支援しながら買い物しつつ、生活支援を行う仕組みづくりができる。
- 集合場所まで少しでも歩き、地域の人と関わりながら買い物ができるため介護予防につながる。

〔課題〕

運転から商品の補充、販売等全ての業務を一人の担当者が行っており、代わりがないことから、負担が大きくなっている。